



## 岡目八目

大澤完治さん

①



時は寛文10年（1670年）10月17日、本因坊道策と安井算哲の御碁碁。算哲しばし黙想の後、第一着を天元にビシリと打ち下ろした。

「宇宙の中心である天元

に先着すれば、その威力は宇宙の隅々まで広がり、必ず勝てるはずだ」との思いだったようです。

残念ながら自負け。自らの技量の未熟さを恥じてか、一度と初手天元打ちはしなかつたといいます。この安井算哲こそ、後に貞享暦を制定した初代幕府天文方・渋川春海です。

当時から「碁碁は宇宙」と考えられていたようですが、碁盤は着手点が361（ $19 \times 19$ ）あり、これは陰暦の一年を表したカレンダーモードであります。暦

は天体の運行の法則を日常生活に資するため、昔の人々が定めたものです。

碁碁の手は、1局の変化が10の360乗ともいわれ、ほぼ無限。まさに宇宙そのものだと思います。宇宙は広大無邊であり、その中で人間は芥子粒とも満たない存在。すなわち碁碁は、

人間が生きるために全ての英知を包含しているといえるのではないかでしょうか。

20年ほど前、漫画「ヒカルの碁」ブームがあり、子供たちへの碁碁普及は、空

前絶後といつて

よいほど盛り上

がりました。なぜ子供たち

がこんなに碁碁に熱中する

かと思い、漫画に目を通し

子供たちは「ヒカル」と「佐

為」が対局する碁碁の中に、

宇宙を垣間見たのではない

かと感じました。

様々な要因で碁碁人口は減少の一途をたどっている

ようです。今こそ「宇宙から賜った」碁碁を継承発展させるのが我々碁碁関係者の使命であると考えています。（緑星さいたま代表）